

第2回 仙台国際音楽コンクール

THE 2nd SENDAI INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION



拍手するあなたも審査員

コンチェルト

コンクールニュース Vol. 3

2004.4.25

インタビュー 原田哲男氏 (仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者)

コンクールで個性豊かな出場者と一緒に音楽ができることを楽しみにしています



第1回仙台国際音楽コンクールで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者として演奏され、今回のコンクールのキャッチフレーズの審査委員でもあった原田哲男氏にお話を伺いました。

(略歴) 柳川学園大学卒業。1994年から2年間ドイツのマインツ大学に学ぶ。帰国後すぐに米国ダラスに渡り研鑽を積む。1999年から仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者として活躍。森川諒一、木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎洗の各氏に師事。

第1回仙台国際音楽コンクールの印象や感想、思い出深かったことをお聞かせください

若い方々ですが、すでにコンサート活動を行う能力を持った方たちと一緒に音楽ができたという印象を強く持っております。予選では、ヴァイオリンとピアノ両部門あわせて約40名の出場者とカルテットのメンバーとして共演しました。スケジュールは大変でしたが、出場者一人一人の音楽を短時間で汲み取っていかに演奏するかと考えるのが、とても楽しかったという思い出があります。また、季節が良かったというのもありますね。そしてコンクール運営そのものがスムーズだったのではないかと思います。それは運営委員長や指揮者、スタッフの方々の調整によるものだと思います。僕たちオーケストラ側からみても、ボランティアの方をはじめ、周囲の方々が「いかにプレーヤーが演奏しやすいようにサポートするか」ということを第一に考えているという印象があり、すごく助かりました。現在、仙台フィルの演奏会を聴きに來てくださっている方の中には「コンクールで仙台フィルの演奏を初めて聴きました。」とか「クラシック音楽はあまり好きではなかったが、コンクールの演奏を聴いて興味を持った。」という方もいらして、このコンクールをきっかけに演奏会に足を運んでいただけるようになることは、すごく素敵だなと思いました。仙台フィルに好印象を持っていただいて本当に嬉しいです、そういう意味でも第1回仙台国際音楽コンクールはとても良い思い出です。

今回のコンクールでもそういう方々が増えるといいですね

本当にそう思います。コンクールとはいえ、お客様も多いので「頑張らねば!」と思いますし、まさに真剣勝負で演奏している人を目の前にすると、こちらもかき立てられるというか。それから、仙台という街を知らずに世界中から集まってきた審査委員や出場者が、それぞれの国に帰って「仙台という魅力的な街に良いオーケストラがあったよ。」と語っていただけたら…。今は、インターネットで世界とつながり広がる時代ですが、それにも勝る効果があるような気がします。

第2回コンクールで楽しみなことは…

前回のコンクールでは、入賞者でない方の中にも素晴らしいと思った出場者がたくさんいました。個性豊かな方々と一緒に音楽ができるということがとても楽しみです。また、僕はオーケストラの中でプロとして仕事をしているわけですが、与えられる仕事をこなすことに追われ、「まあ、この程度」と思ってしまったり、いつもの奏法に凝り固まってしまうこともあります。自由な発想や感性、音楽そのものへの取り組みなど、コンクールで出場者から受ける刺激は大きいと思います。僕らが学ぶことも多いのです。(次頁へ)

話題は変わりますが、チェロをやっていて良かったと思うことはありますか

チェロという楽器は、まんべんなく役割が回ってくると思うのです。下を支える役割もありますし、またメロディもたくさん出てきますし。「この役目だけ」ということはチェロに関してはないと思います。チェロは音域も広いし、音色もいろいろ出せる楽器だと思うので、どの曲を演奏していても「いいな」と思いますね。

原田さんはクラシック以外の音楽も聴かれるのですか

学生の頃は聴くこともありました。今は「この人」というアーティストはいないのですが、車ではいつもラジオを聴いていて、流れてくるクラシック以外の曲で好きな曲はたくさんあります。

それでは最後に、コンクールを聴きにくる方々へメッセージをお願いします

「拍手するあなたも審査員」というキャッチフレーズのとおり、自分の好みの音楽家を見つけるということがコンクールでの一番の楽しみかもしれないですね。皆それぞれが素晴らしいと思うから…。「これからもこの人を聴いていきたいな」と思う人を見つ



けることができるとすごくいいと思います。若い人がゆえに一瞬懸命もがいて、何か自分で掴み取ろうとしている出場者の演奏は“今この時、仙台”でないと聴けない…。将来この中から世界的なプレーヤーが出て、日本ではぜひ“思い出の仙台”でコンサートを開きたいと思ってくれたら、さらに嬉しいですね。仙台国際音楽コンクールの課題曲であるコンチェルトは、我々オーケストラの演奏次第でソリストが活きもするし、活かされないこともあります。その大きな役割を僕らは担っていると思います。ソリストと対等に音楽のやりとりをして、音楽そのものを盛り上げたいし、お客様にも期待して聴

いていただきたいと思います。「ソリストは良かったけど、オケがねー。」というのがとっても悔しいと思いますよ。そうならないために、出場者それぞれがどんな音楽をやりたいのか本気でアンテナを張りめぐらせ、敏感に感じ、その場の判断で演奏できなくてはならないと思います。このコンクールでは、出場者だけでなく、オーケストラの機能性も試され、全員の持っている能力を審査される場でもあると思って臨みます。

大変お忙しいところ、貴重なお話をたくさん伺うことができました。どうもありがとうございました。(80 / 80)



第2回仙台国際音楽コンクール課題曲紹介

いよいよコンクールがはじまります。仙台国際音楽コンクールは協奏曲を課題曲の中心にしているのが大きな特徴です。

若い音楽家たちがどんな演奏を繰り広げるのかー どうぞご期待ください！



～ ヴァイオリン部門 ～

予選 (5月15日～17日)

下記の協奏曲 (全楽章) を、弦楽五重奏と共演 (指揮者なし) します。

ハイドン ヴァイオリン協奏曲 第1番 八長調 Hob.VIII-1

セミファイナル (5月21日～23日)

下記のA、Bからそれぞれ1曲を選択し、その両方を演奏します。

A 下記から1曲を選択し、その第1楽章 (カデンツァを含む) を演奏します。

シベリウス ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47

チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35 ※

パガニーニ ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 op.6 ※

メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

※の2曲のカデンツァの作曲者は、特に指定しない。

B 下記から1曲を選択し、その全楽章を演奏します。

ハルトーク ヴァイオリン協奏曲 第2番 S.112

プロコフィエフ ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 op.63

ベルク ヴァイオリン協奏曲

ファイナル (5月27日～28日)

下記から1曲を選択し、その全楽章を演奏します。

ベートーヴェン ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61

メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

ブラームス ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77

◇ セミファイナルAにおいてメンデルスゾーンを選択した場合は、ファイナルでは他の2曲 (ベートーヴェン、ブラームス) から1曲を選択する。



～ ピアノ部門 ～

予選 (6月5日～7日)

次の①②の両方を演奏します。①は弦楽五重奏と共演 (指揮者なし) します。

① モーツァルト ピアノ協奏曲 ハ長調 K.415 (387b) の第1楽章 ※モーツァルトのカデンツァを使用する

②A、Bそれぞれから1曲以上を選択し、演奏します。

- | | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------|
| A ショパン | 練習曲 op.10 より <第3番、第6番は除く>
練習曲 op.25 より <第7番は除く> |
| B リスト | 超絶技巧練習曲 Si39 より <第3番、第11番は除く>
バガニーニによる大練習曲 Si41 より |
| スクリャーピン | 練習曲 op.8 より <第9番、第11番は除く>
練習曲 op.42 より <第4番は除く> |
| ドビュッシー | 12の練習曲より |
| ラフマニノフ | 練習曲「音の絵」op.39 より <第2曲、第7曲は除く>
練習曲「音の絵」op.33 より <第3曲、第8曲 (ト短調) は除く> |

セミファイナル (6月11日～13日)

次の曲目から1曲を選択し、その全楽章を演奏します。

- | | |
|---------|----------------------------------------------|
| プロコフィエフ | ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.16
ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 op.26 |
| ラヴェル | ピアノ協奏曲 ト調 |
| バルトーク | ピアノ協奏曲 第3番 Sz.119 |

ファイナル (6月17～18日)

次の曲目から2曲を選択し、その中からセミファイナル終了後に運営委員長が指定した1曲について、その全楽章を演奏します。

- | | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------|
| ベートーヴェン | ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37
ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58
ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」 |
| ショパン | ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11
ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 op.21 |
| リスト | ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 Si24
ピアノ協奏曲 第2番 イ長調 Si25 |
| シューマン | ピアノ協奏曲 イ短調 op.54 |
| ブラームス | ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調 op.15
ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.83 |
| サン＝サーンス | ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.22
ピアノ協奏曲 第4番 ハ短調 op.44
ピアノ協奏曲 第5番 ヘ長調 op.103「エジプト風」 |
| チャイコフスキー | ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23 |
| ラフマニノフ | ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18
ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 op.30
バガニーニの主題による狂想曲 op.43 |



交流サロン “ハーモニー” のご案内

仙台国際音楽コンクールの開催期間中、仙台市青年文化センター2Fに交流サロン“ハーモニー”がオープンします。世界各地から来仙する出場者に、少しでも快適に滞在していただけるよう、出場者サポートボランティアの手により様々なサービスを提供していきます。半数以上が海外からの出場者となるこのコンクールでは、英語をはじめとした外国語で相談を持ちかけられることが予想されますが、語学の堪能なボランティアが対応にあたり、日本語がわからない方でも安心してお話いただけます。また、交流サロン内には、ご来場の皆様から寄せられた出場者への応援メッセージを掲示するコーナーを設けて、市民の皆様と出場者の交流の場を提供いたします。皆様からのたくさんの応援メッセージをお待ちいたしております。(出場者サポート 千葉)



<私たちがお待ちしております>

幻のポスター—撮影秘話

コンクールも間近になり、皆さんも地下鉄や市内各所で仙台国際音楽コンクールのポスターを見かける機会があるのではないのでしょうか？実はあのポスターには私たちボランティアもモデルとして登場しています。3月に貼られていたものは2月のボランティア活動の日に撮影が行われました。当日、あまり見かけないカメラや照明などの機材が用意されており、あまりにも本格的な撮影の現場に皆でビックリ。さらにメイクさんにお化粧をしてもらい、スタイリストさんには「初夏（コンクール開催時期）」をイメージした服装を準備してもらい撮影に入りました。いくつかのカットの撮影が行われたのですが、実際にはポスターにならなかった、「幻のポスター」をご紹介します。広報の仕事しながらの撮影でしたが、カメラマンさんの「顔を下に向けず視線を合わせて」や「緊張しないで笑顔で」という注文に少しだけ笑顔を引きつらせながらの、普段ではできない貴重な2時間ほどのモデル体験でした。



＜本格的な撮影にドキドキ＞



＜幻のポスター＞

編集後記 いよいよ来月からコンクールが開催されます。このコンクールのために世界各地から集まる若い音楽家を応援しよう！という気持ちでこめて作業を進めました。何もかもが初めての作業でしたが、インタビューを快諾してくださった仙台フィルハーモニー管弦楽団の原田哲男さんをはじめとして、いろいろな方のご協力をいただき発行することができました。一人でも多くの方に読んでいただき、コンクールに関心を持っていただければ幸いです。皆さん、ぜひ会場でお会いしましょう！（柳）

～ ボランティア 楽も苦もあり 夜も昼も ～（長内）

発行：仙台国際音楽コンクール広報宣伝サポート 問合せ：仙台市市民文化事業団コンクール推進課（仙台国際音楽コンクール事務局）
TEL 022-727-1872 e-mail info@simc.jp URL <http://www.simc.jp/>